

チュートリアル課題 僕の病気、お母さんとどう違う？

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2015-07-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/31211

2011年度 Block. 3

課 題 No.3

課題名：僕の病気、お母さんとどう違う？

課題作成者： 第三内科学
 第三内科学
 第二内科学

中神 朋子
佐倉 宏
磯崎 収

シート1

S君は20歳の大学生の男性。

入学時の健康診断では、身長172cm、体重65kg、腹囲80cm、血圧108/74mmHg、空腹時血糖95mg/dl、尿糖（-）でした。

上京し、A大学に入学後は独り暮らしをして2年になります。当初は自炊をしながら規則正しい生活をしていましたが、約1年半前から深夜にコンビニエンスストアでアルバイトをしています。そのため、夕食の弁当の他、深夜にスナックやジュースを口にすることが増えました。

心配になり、学校の医務室に行ったところ、体重80kg、腹囲98cm、血圧120/78 mmHg、食後血糖175 mg/dl、HbA1c 4.9%、尿糖（+-）。体重を減らすように指導されました。

シート2

ところが、2日前から微熱と咳、鼻水、咽頭痛が出現したため近医を受診しました。風邪薬を処方され帰宅し、処方された風邪薬を内服しましたが、症状は改善せず、半日前から口渇、多飲、全身倦怠感が出現しました。そのうち腹痛も出現したため、友人に連絡を取りました。数時間後に友人が来訪しましたが、揺り動かしてもS君の応答が乏しく様子がおかしいことに気づき、救急車で病院に搬送しました。

シート3

救急外来での検査の結果、生理食塩水およびインスリンの持続点滴が開始されました。翌朝には意識は正常に戻り、入院2日目朝には食事も摂取できるようになりました。入院4日目からインスリンの頻回注射に切り替えたところ、昼食前に、冷汗、手のふるえが生じ、再び意識が低下しました。

シート4

ブドウ糖の静脈注射を行ったところ、すぐに意識は回復しました。2週間後、食事療法とインスリンの頻回注射をして退院となりました。

担当医：入院で血糖値はずいぶん良くなりましたが、生涯インスリンの注射が必要です。また、合併症のことを考えると健康的な生活習慣を身につけて、太らないようにすることも大切ですよ。

S君の母：Sは一生インスリン注射が必要なのですか？ 私は妊娠中に妊娠糖尿病と言われましたが、今は問題ないと言われています。Sは私とは違うタイプの糖尿病ですか？

S君と母：先生、もっと詳しく説明して下さい。これから先がとても心配です。